

平成28年度学校保健統計調査
福井県の概要
(速報)

平成28年12月

福井県 総合政策部 政策統計・情報課

目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	
1 発育状態調査	
(1)身長・体重の状況	3
ア 身長	4
イ 体重	4
(2)身長・体重の推移	5
ア 身長	5
イ 体重	8
(3)全国平均値との比較	11
ア 身長	11
イ 体重	13
2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率	
(1)肥満傾向児および痩身傾向児の状況	15
ア 肥満傾向児	15
イ 痩身傾向児	16
(2)全国との比較	17
ア 肥満傾向児	17
イ 痩身傾向児	20
3 健康状態調査	
(1)疾病・異常などの状況	24
(2)主な疾病・異常等の推移	25
ア 裸眼視力 1.0 未満の者	25
イ 鼻・副鼻腔疾患の者	26
ウ むし歯(う歯)の者	27
エ アトピー性皮膚炎の者	28
オ ぜん息の者	29

留意事項

- 1 この報告書は、平成28年度学校保健統計調査(文部科学省所管)について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- 2 この報告書は、福井県ホームページの統計情報(<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei/>)にて掲載している。
- 3 この報告書の数値は速報値であり、後日、文部科学省が公表する数値をもって確定値とする。

文部科学省が公表する報告書については、文部科学省ホームページ

(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)で閲覧できる。

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、高等学校および幼稚園（平成 28 年度からは幼保連携型認定こども園を含む）のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満 5 歳から 17 歳（平成 28 年 4 月 1 日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数(福井県)

区分	平成28年5月1日現在(※1)		調査実施校		調査対象者数					
	学校数	在籍者数	学校数	割合	発育状態			健康状態		
					調査実施1校 当たりの対象人数	実調査 人数(※4)	割合	対象人数	実調査人数	割合
a	b	c	d=c/a	e	f	g=f/b	h	i	j=i/b	
計	校 482	人 91,287	校 148	% 30.7		人 12,855	% 14.1	人	人 58,758	% 64.4
幼稚園・幼保連携型 認定こども園(※2)	160	2,916	30	18.8	男女別各 22人	901	30.9	該調 当 年 実 施 の 校 児 童 に 在 籍 全 員 す る	1,068	36.6
小学校	202	42,962	57	28.2	年齢別男女各 8人	5,403	12.6		22,370	52.1
中学校	84	22,710	37	44.0	年齢別男女各 20人	4,436	19.5		16,686	73.5
高等学校(※3)	36	22,699	24	66.7	年齢別男女各 15人	2,115	9.3		18,634	82.1

※1 平成28年度学校基本調査による。学校数は分校・分園も一校と計上している。

2 幼稚園・幼保連携型認定こども園の在籍者数は「幼稚園」と「幼保連携型認定こども園」の5歳の園児のみを計上している。

3 高等学校の学校数および在籍者には「通信制課程」を含まない。また実調査人数は1～3学年の生徒のみを計上している。

4 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。

3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無、結核に関する検診の結果

※平成 28 年度から、調査項目から座高、寄生虫卵の有無は削除された。また、脊柱・胸郭の状態の項目に四肢の状態が追加され、脊柱・胸郭・四肢の状態となった。

4 調査期日

平成 28 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの間に実施した。

統計表中の符号について

- 「▲」 → 計数が負数の場合
- 「—」 → 該当者がいない場合
- 「0.0」 → 計数が単位未満の場合
- 「…」 → 調査対象とならなかった場合
- 「X」 → 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

5 標本抽出の方法

- (1) 児童生徒数および学校数に応じ調査実施校数を学校種別に決定する。
- (2) 次の①から③の方法で調査実施校を決定する。
 - ① 学校種別に、児童・生徒数に応じ、学校を層化する。
 - ② 調査実施校数を層数で割り、1層当たりの割当学校数を求める。
 - ③ 各層内で、調査実施校を単純無作為抽出する。

調査結果の概要

1 発育状態調査

(1) 身長・体重の状況

平成 28 年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の身長および体重の福井県平均値を年齢別にみると表 1 のとおりである。

また、各年齢の過去 1 年間の年間発育量は表 2 のとおりである。

表 1 年齢別 身長・体重の平均値

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D
幼稚園	5歳	110.5	109.8	0.7	19.0	18.4	0.6
	6歳	116.6	115.5	1.1	21.4	20.6	0.8
	7歳	122.3	121.4	0.9	23.9	23.3	0.6
小学校	8歳	128.2	127.6	0.6	27.3	26.4	0.9
	9歳	134.2	133.5	0.7	31.1	29.4	1.7
	10歳	139.2	140.4	▲ 1.2	33.5	34.1	▲ 0.6
	11歳	145.6	147.0	▲ 1.4	38.3	38.6	▲ 0.3
中学校	12歳	152.9	152.5	0.4	44.1	44.4	▲ 0.3
	13歳	160.3	155.0	5.3	49.2	47.0	2.2
	14歳	165.5	157.2	8.3	54.4	50.2	4.2
高等学校	15歳	168.8	157.2	11.6	60.2	52.6	7.6
	16歳	170.2	157.8	12.4	61.6	53.1	8.5
	17歳	171.7	158.1	13.6	64.3	52.5	11.8

表 2 年齢別 過去 1 年間の発育量

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	6.9	5.8	5.9	5.7	5.4	6.9	7.4	7.2	5.8	2.2	1.0	0.8
	女子	5.8	5.5	6.0	5.8	6.4	6.7	5.7	3.3	2.0	0.4	▲ 0.1	0.5
体重 (kg)	男子	2.8	2.6	3.3	4.1	3.4	5.1	5.9	5.4	5.8	4.4	2.5	3.7
	女子	2.0	2.4	2.9	2.9	4.4	4.8	6.2	4.3	3.1	2.5	1.5	0.1

※この数値はH28年度の数値からH27年度の1歳下の値を差し引いて算出したものである。

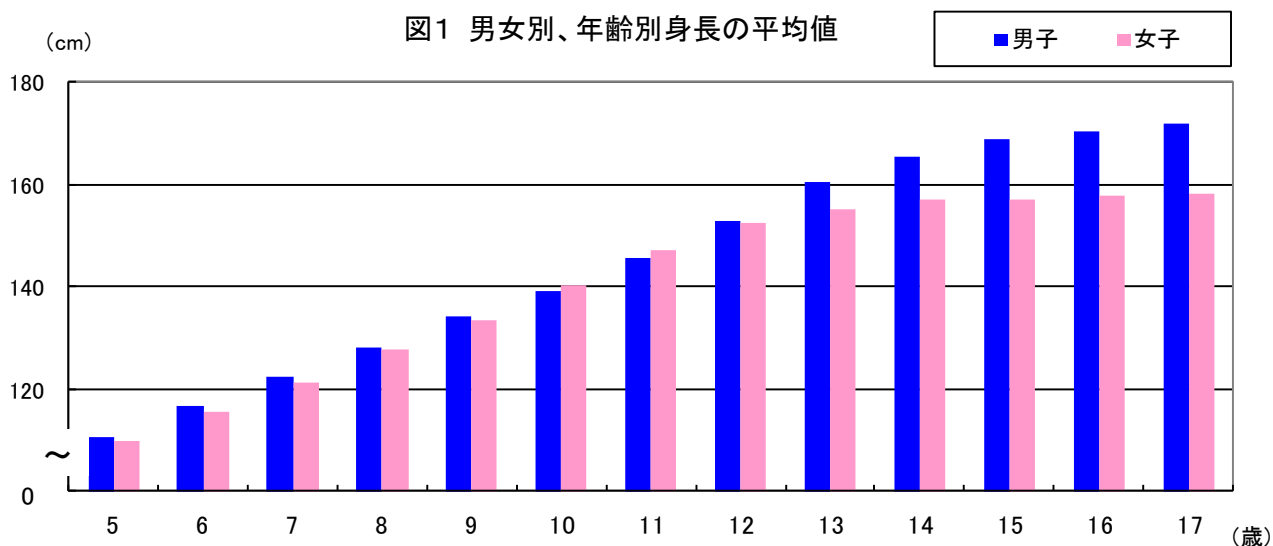
例) 17歳の発育量(身長) = H28年度の17歳(身長) - H27年度の16歳(身長)

ア 身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）で110.5 cm、11歳（小学校6年）で145.6 cm、14歳（中学校3年）で165.5 cm、17歳（高等学校3年）で171.7 cmとなっている。年間の発育量は、12歳の7.4 cmを最高に13歳が大きくなっている。（表1、表2）

女子の身長は、5歳で109.8 cm、11歳で147.0 cm、14歳で157.2 cm、17歳で158.1 cmとなっている。年間の発育量は、11歳の6.7 cmを最高に10歳が大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、10歳および11歳で女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（表1）

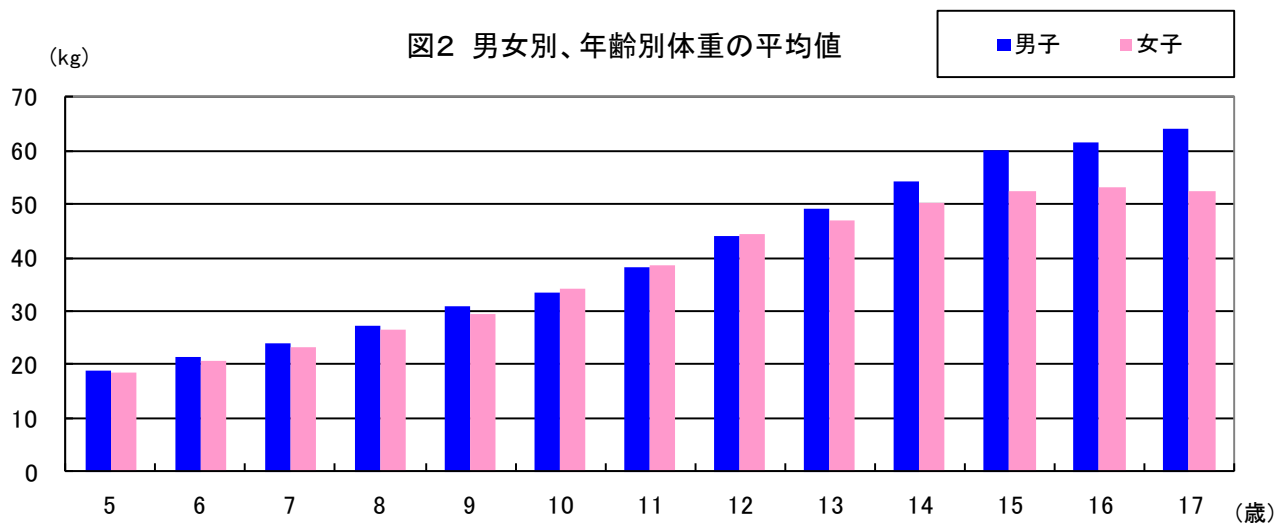


イ 体重

男子の体重は、5歳（幼稚園）で19.0 kg、11歳（小学校6年）で38.3 kg、14歳（中学校3年）で54.4 kg、17歳（高等学校3年）で64.3 kgとなっている。年間の発育量は、12歳の5.9 kgを最高に14歳が大きくなっている。（表1、表2）

女子の体重は、5歳で18.4 kg、11歳で38.6 kg、14歳で50.2 kg、17歳で52.5 kgとなっている。年間の発育量は、12歳の6.2 kgを最高に11歳が大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、10歳から12歳にかけて女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（表1）



(2) 身長・体重の推移

ア 身長

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表3のとおりである。

各学校種別の最高学年の身長について平成28年度と昭和41年度を比較すると、男女とも全学年で伸びている。最近10年間では、男子は17歳を除き横ばいまたは減少傾向であり、女子は10歳を除くすべての年齢で減少傾向にある。(表3)

表3 男女別、年齢別 身長の推移

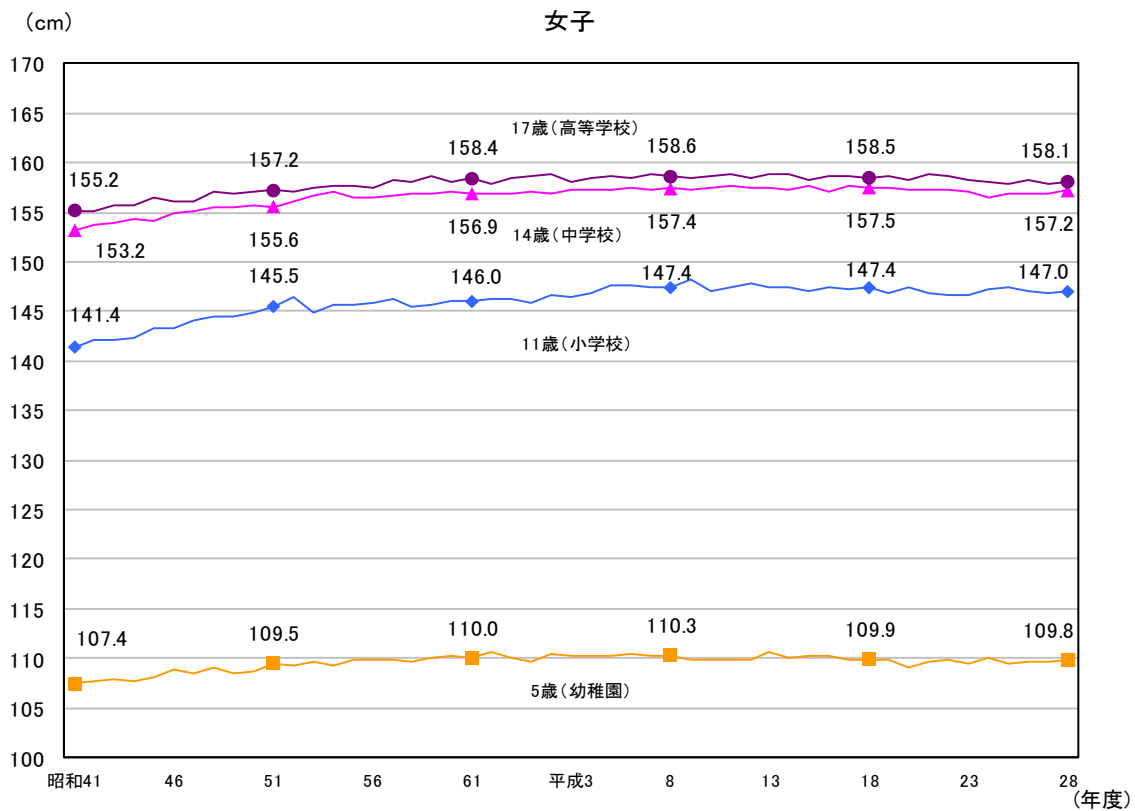
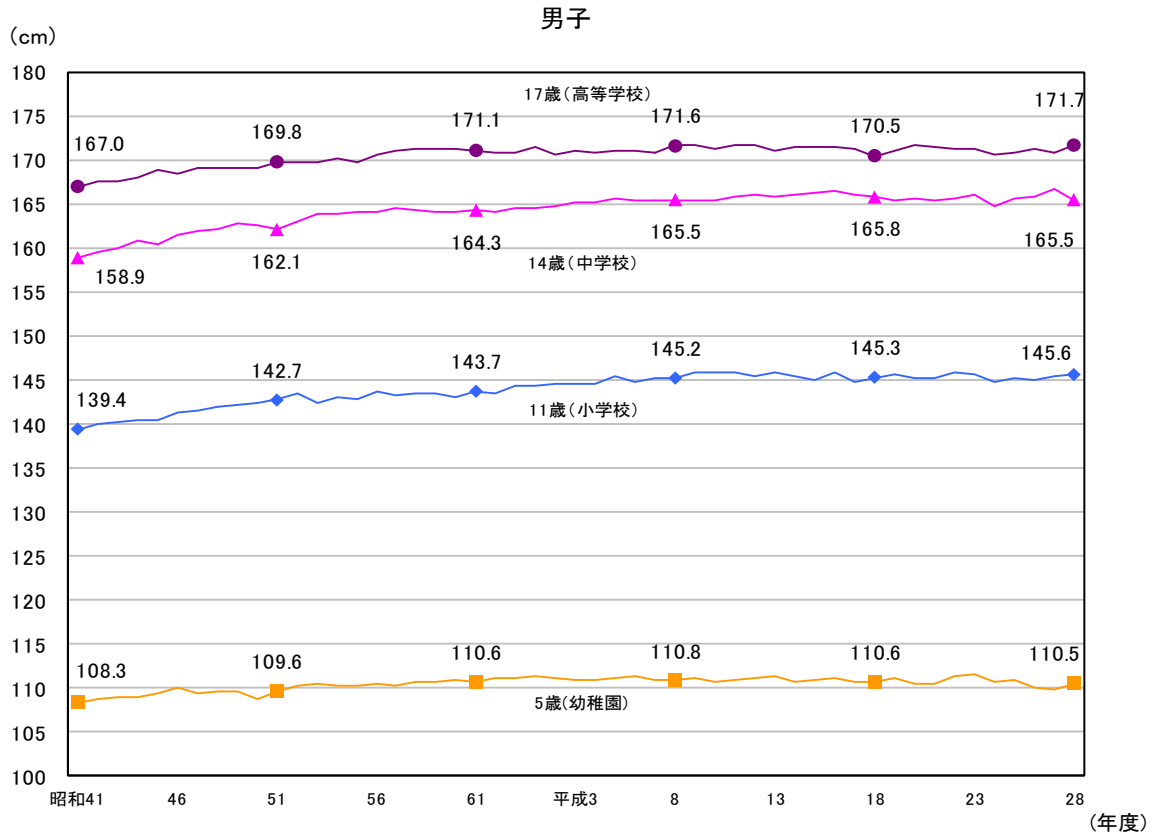
(単位：cm)

区 分			年 度							身 長 差				
			50年前 昭和 41年度 A	30年前 昭和 61年度 B	10年前 平成 18年度 C	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C	
男 子	幼稚園	5歳	108.3	110.6	110.6	110.7	110.9	110.0	109.7	110.5	2.2	▲ 0.1	▲ 0.1	
		6歳	113.8	116.8	116.6	116.8	116.6	116.5	116.5	116.6	2.8	▲ 0.2	0.0	
		7歳	119.4	122.3	122.5	122.2	122.7	122.8	122.3	122.3	2.9	0.0	▲ 0.2	
		8歳	124.6	127.8	128.3	128.3	128.5	128.5	128.5	128.2	3.6	0.4	▲ 0.1	
		9歳	129.6	133.0	134.2	134.0	<u>134.5</u>	134.3	133.8	134.2	4.6	1.2	0.0	
		10歳	134.5	137.6	139.1	138.4	138.8	<u>139.9</u>	138.7	139.2	4.7	1.6	0.1	
		11歳	139.4	143.7	145.3	144.7	145.3	144.9	145.5	145.6	6.2	1.9	0.3	
	小学校	12歳	145.3	150.6	153.0	152.3	152.3	152.2	153.1	152.9	7.6	2.3	▲ 0.1	
		13歳	152.7	158.4	160.3	159.6	159.9	160.3	159.7	160.3	7.6	1.9	0.0	
		14歳	158.9	164.3	165.8	164.7	165.7	165.8	<u>166.6</u>	165.5	6.6	1.2	▲ 0.3	
		高等学校	15歳	164.0	168.4	168.9	168.8	168.6	169.0	169.2	168.8	4.8	0.4	▲ 0.1
			16歳	166.3	170.2	170.4	170.3	170.0	170.6	170.9	170.2	3.9	0.0	▲ 0.2
			17歳	167.0	171.1	170.5	170.7	170.8	171.3	170.9	171.7	4.7	0.6	1.2
	女 子	幼稚園	5歳	107.4	110.0	109.9	110.0	109.5	109.7	109.7	109.8	2.4	▲ 0.2	▲ 0.1
			6歳	112.8	116.1	115.7	116.1	115.6	115.7	115.9	115.5	2.7	▲ 0.6	▲ 0.2
			7歳	118.5	121.5	121.5	121.7	121.9	121.9	121.6	121.4	2.9	▲ 0.1	▲ 0.1
			8歳	123.5	127.0	127.7	127.6	127.6	127.2	127.7	127.6	4.1	0.6	▲ 0.1
9歳			128.8	132.8	<u>134.3</u>	133.8	134.2	133.2	134.0	133.5	4.7	0.7	▲ 0.8	
10歳			134.9	139.4	140.3	140.3	140.7	140.3	140.3	140.4	5.5	1.0	0.1	
11歳			141.4	146.0	147.4	147.3	147.5	147.0	146.8	147.0	5.6	1.0	▲ 0.4	
小学校		12歳	147.0	151.6	152.6	151.7	151.6	152.4	151.7	152.5	5.5	0.9	▲ 0.1	
		13歳	151.0	155.1	<u>156.1</u>	155.9	155.3	155.0	155.2	155.0	4.0	▲ 0.1	▲ 1.1	
		14歳	153.2	156.9	157.5	156.5	156.9	156.8	156.8	157.2	4.0	0.3	▲ 0.3	
		高等学校	15歳	154.6	157.3	157.6	158.1	157.6	157.3	157.9	157.2	2.6	▲ 0.1	▲ 0.4
			16歳	155.0	157.9	158.4	158.1	157.6	157.6	157.6	157.8	2.8	▲ 0.1	▲ 0.6
			17歳	155.2	158.4	158.5	158.0	157.9	158.3	157.9	158.1	2.9	▲ 0.3	▲ 0.4

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

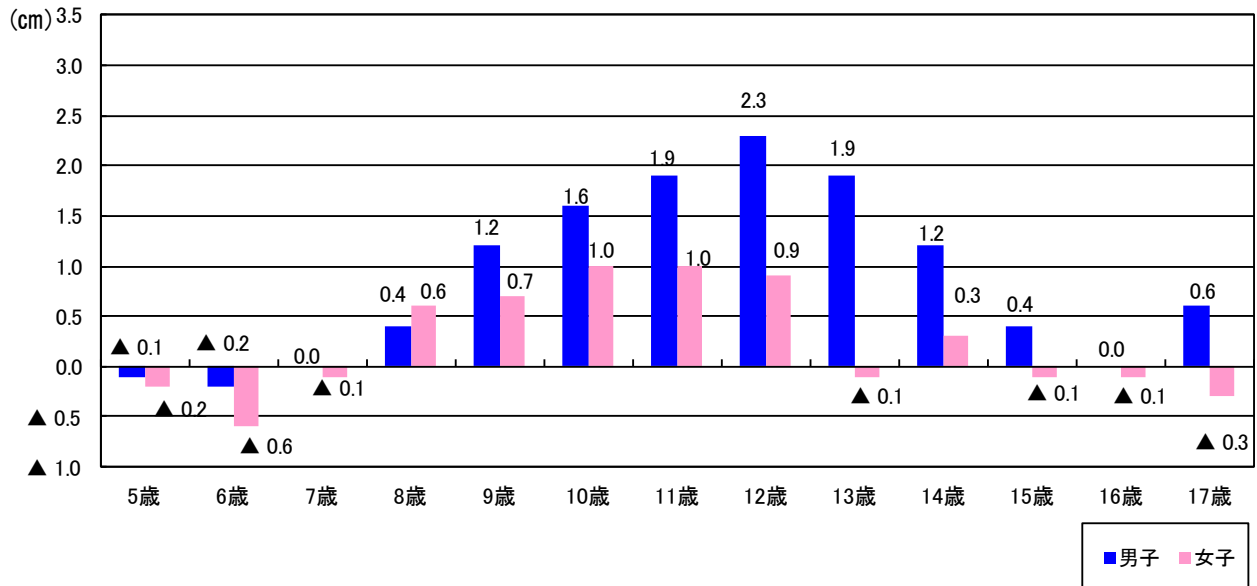
さらに詳しく平成 28 年度と昭和 41 年度の比較をみると、男子では 5 歳（幼稚園）で 2.2cm、11 歳（小学校 6 年）で 6.2cm、14 歳（中学校 3 年）で 6.6cm、17 歳（高等学校 3 年）で 4.7cm、女子では 5 歳で 2.4cm、11 歳で 5.6cm、14 歳で 4.0cm、17 歳で 2.9cm 高くなっている。（表 3、図 3）

図 3 平均身長推移（昭和 41 年度～平成 28 年度）



親の世代(30年前の同じ年齢の者=昭和61年度調査値)との比較では、男子の5歳および6歳、女子の5歳から7歳、13歳、15歳から17歳で子世代が親世代を下回っており、男子の7歳および16歳は同値である。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の身長を上回っている。
(図4)

図4 親子世代間の身長差(平成28年度調査値-昭和61年度調査値)



イ 体 重

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表4のとおりである。

各学校種別の最高学年の体重について、50年前（昭和41年度）と比較すると、男女とも全学年で増加している。（表4）

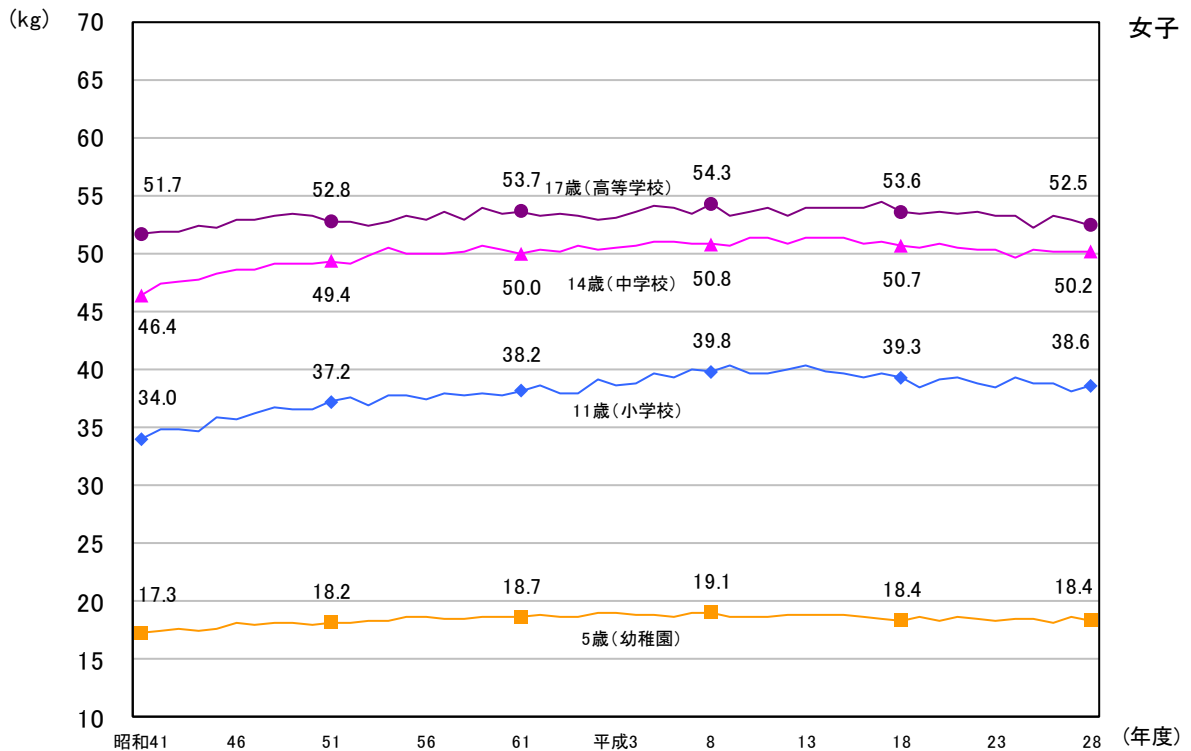
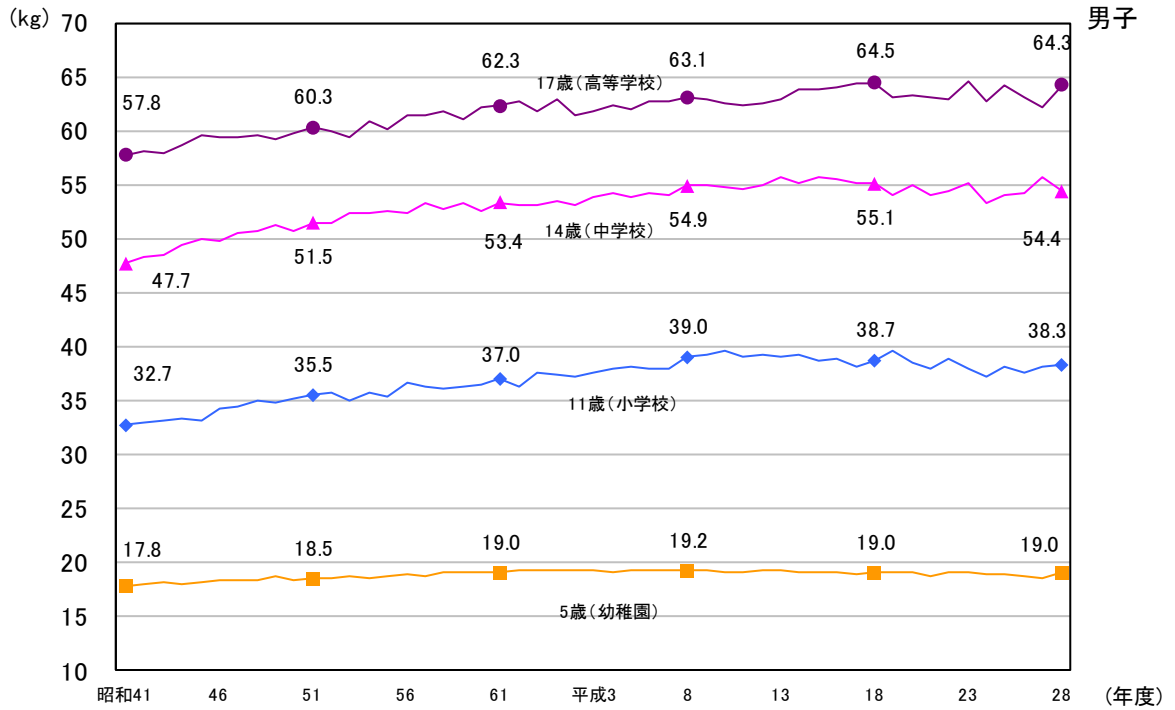
表4 男女別、年齢別体重の推移

（単位：kg）

区 分			年 度							体 重 差			
			50年前 昭和 41年度 A	30年前 昭和 61年度 B	10年前 平成 18年度 C	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C
男 子	幼稚園 小学校	5歳	17.8	19.0	19.0	18.9	18.9	18.7	18.6	19.0	1.2	0.0	0.0
		6歳	19.6	21.3	21.7	21.5	21.4	21.2	21.3	21.4	1.8	0.1	▲ 0.3
		7歳	21.8	23.8	24.2	23.8	23.9	24.1	24.0	23.9	2.1	0.1	▲ 0.3
		8歳	24.2	26.5	27.3	27.0	27.0	27.2	27.0	27.3	3.1	0.8	0.0
		9歳	26.7	29.6	31.1	30.5	30.5	30.4	30.1	31.1	4.4	1.5	0.0
		10歳	29.5	32.2	34.9	33.8	34.0	34.2	33.2	33.5	4.0	1.3	▲ 1.4
		11歳	32.7	37.0	38.7	37.3	38.2	37.6	38.2	38.3	5.6	1.3	▲ 0.4
	中学校 高等学校	12歳	36.7	42.2	45.0	43.7	43.4	43.6	43.8	44.1	7.4	1.9	▲ 0.9
		13歳	42.5	47.6	50.2	48.8	49.2	49.1	48.6	49.2	6.7	1.6	▲ 1.0
		14歳	47.7	53.4	55.1	53.3	54.1	54.3	55.8	54.4	6.7	1.0	▲ 0.7
		15歳	52.8	58.5	61.2	60.5	59.1	59.4	59.1	60.2	7.4	1.7	▲ 1.0
		16歳	55.8	61.2	62.5	62.3	61.2	62.0	60.6	61.6	5.8	0.4	▲ 0.9
		17歳	57.8	62.3	64.5	62.7	64.2	63.2	62.2	64.3	6.5	2.0	▲ 0.2
	女 子	幼稚園 小学校	5歳	17.3	18.7	18.4	18.5	18.5	18.2	18.6	18.4	1.1	▲ 0.3
6歳			19.0	20.8	20.9	21.0	20.9	20.9	20.9	20.6	1.6	▲ 0.2	▲ 0.3
7歳			21.3	23.2	23.5	23.4	23.3	23.5	23.5	23.3	2.0	0.1	▲ 0.2
8歳			23.7	25.5	26.4	26.5	26.3	26.0	26.5	26.4	2.7	0.9	0.0
9歳			26.3	29.5	30.7	30.2	30.2	29.4	29.7	29.4	3.1	▲ 0.1	▲ 1.3
10歳			29.7	33.4	34.2	34.0	33.7	33.8	33.8	34.1	4.4	0.7	▲ 0.1
11歳			34.0	38.2	39.3	39.3	38.8	38.8	38.2	38.6	4.6	0.4	▲ 0.7
中学校 高等学校		12歳	39.0	43.6	44.5	43.0	43.0	43.8	42.7	44.4	5.4	0.8	▲ 0.1
		13歳	43.6	47.3	48.5	47.4	47.6	47.6	47.1	47.0	3.4	▲ 0.3	▲ 1.5
		14歳	46.4	50.0	50.7	49.7	50.3	50.1	50.1	50.2	3.8	0.2	▲ 0.5
		15歳	49.5	52.3	52.1	51.6	51.7	51.5	51.6	52.6	3.1	0.3	0.5
		16歳	50.9	53.3	54.1	53.3	52.8	52.9	52.4	53.1	2.2	▲ 0.2	▲ 1.0
		17歳	51.7	53.7	53.6	53.2	52.2	53.2	52.9	52.5	0.8	▲ 1.2	▲ 1.1

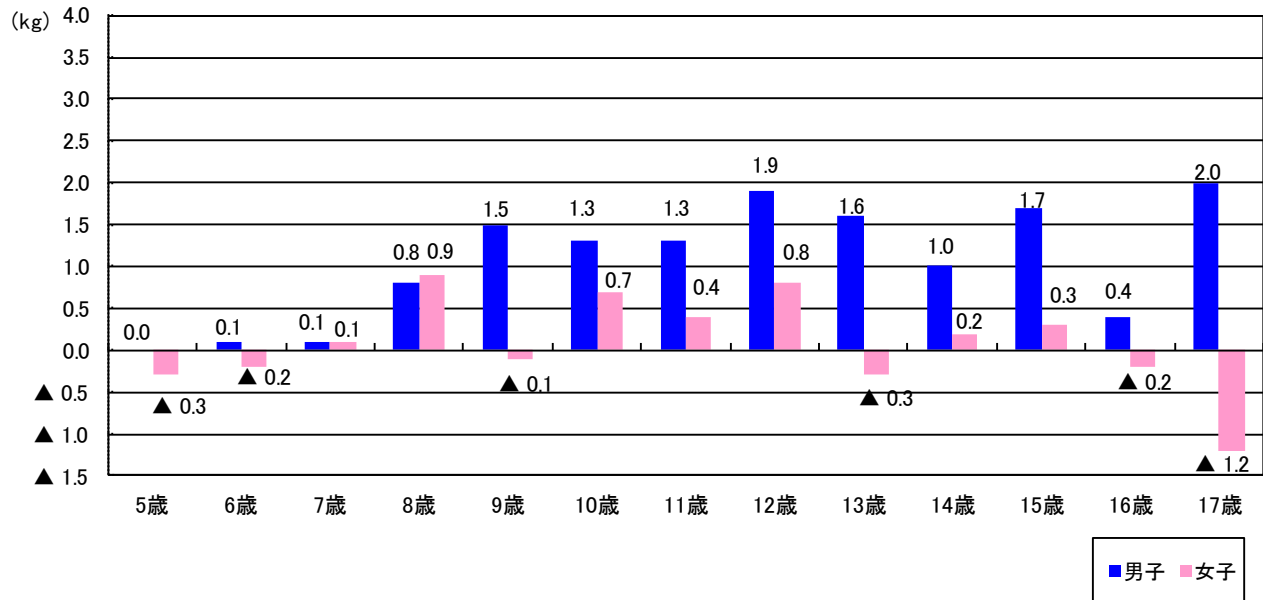
さらに詳しく平成 28 年度と昭和 41 年度の比較をみると、男子では 5 歳（幼稚園）で 1.2 kg、11 歳（小学校 6 年）で 5.6kg、14 歳（中学校 3 年）で 6.7kg、17 歳（高等学校 3 年）で 6.5kg、女子では 5 歳で 1.1kg、11 歳で 4.6kg、14 歳で 3.8kg、17 歳で 0.8kg 重くなっている。（表 4、図 5）

図 5 平均体重の推移(昭和 41 年度～平成 28 年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和61年度調査値）との比較では、女子の5歳、6歳、9歳、13歳、16歳および17歳で子世代が親世代を下回っており、男子の5歳は同値となっている。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の体重を上回っている。（図6）

図6 親子世代間の体重差（平成28年度調査値－昭和61年度調査値）



(3) 全国平均値との比較

ア 身長

全国との比較では、男女ともにほとんどの年齢で全国平均値を上回っているが、男子では7歳、女子では6歳および7歳において全国平均値を下回った。(図7)

全国における順位は、男子では、9歳および15歳で全国5位、女子では14歳で全国1位、12歳で全国5位となっている。(表5)

図7 全国平均値との差(身長)

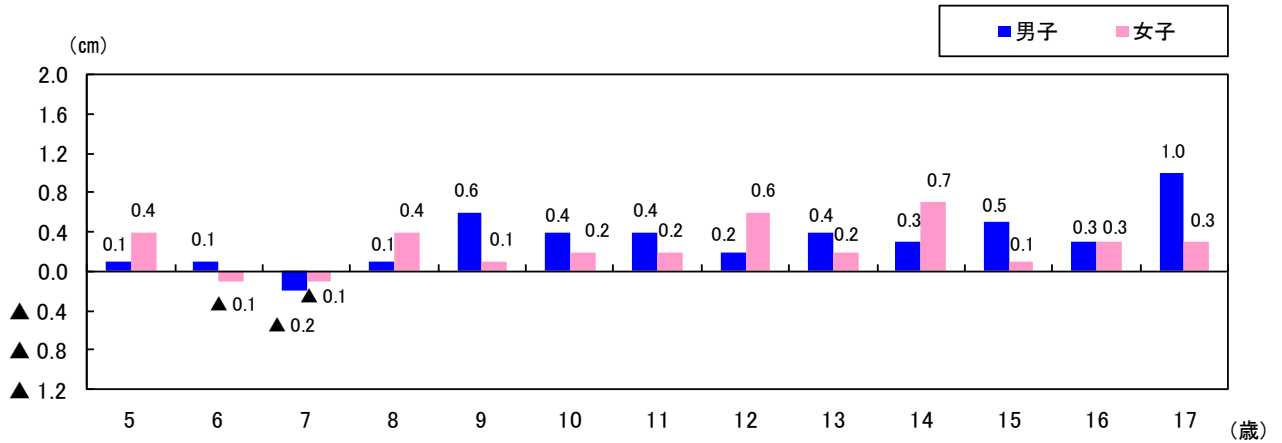


表5 本県の順位(身長)

(単位:cm、位)

区分	平成28年度								過去の順位	
	全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		27年度	26年度	
男子	5歳	110.4	110.5	16	111.7	宮城県	109.3	沖縄県	41	33
	6歳	116.5	116.6	16	117.4	秋田県	115.4	鹿児島県	19	19
	7歳	122.5	122.3	25	123.6	青森県	121.2	鹿児島県	23	7
	8歳	128.1	128.2	16	129.0	山形県	126.8	沖縄県	9	6
	9歳	133.6	134.2	5	134.8	秋田県	132.5	高知県、鹿児島県、 沖縄県	10	5
	10歳	138.8	139.2	11	140.4	秋田県	137.8	山口県	23	3
	11歳	145.2	145.6	11	147.0	秋田県	144.1	高知県	13	28
	12歳	152.7	152.9	15	154.9	秋田県	151.5	島根県	10	29
	13歳	159.9	160.3	14	162.0	秋田県	158.5	山口県	22	9
	14歳	165.2	165.5	14	166.6	秋田県	164.0	沖縄県	2	7
	15歳	168.3	168.8	5	169.2	宮城県	166.9	沖縄県	3	6
	16歳	169.9	170.2	13	171.0	青森県、富山県	168.4	沖縄県	1	3
	17歳	170.7	171.7	3	171.8	石川県、滋賀県	169.0	沖縄県	17	4
女子	5歳	109.4	109.8	9	110.5	新潟県	108.6	島根県	10	11
	6歳	115.6	115.5	22	117.0	青森県	114.6	島根県、山口県	8	12
	7歳	121.5	121.4	19	123.0	青森県	120.5	鹿児島県、沖縄県	17	8
	8歳	127.2	127.6	9	128.7	青森県	126.5	島根県、広島県	10	23
	9歳	133.4	133.5	19	135.0	秋田県	132.3	静岡県	9	32
	10歳	140.2	140.4	14	142.1	青森県	139.0	広島県	14	19
	11歳	146.8	147.0	16	149.1	青森県	145.5	島根県	21	18
	12歳	151.9	152.5	5	152.9	北海道	151.1	山梨県、宮崎県	19	4
	13歳	154.8	155.0	14	156.2	秋田県	153.5	沖縄県	9	15
	14歳	156.5	157.2	1	157.2	神奈川県、富山県 福井県	155.1	沖縄県	8	9
	15歳	157.1	157.2	14	157.7	青森県、山形県	154.9	沖縄県	1	8
16歳	157.5	157.8	8	158.3	石川県	155.4	沖縄県	13	15	
17歳	157.8	158.1	11	158.8	山形県	155.9	沖縄県	18	6	

イ 体 重

全国との比較では、男子では、7歳、10歳、11歳で全国平均を下回っており、それ以外の年齢は全国平均値と同水準またはそれを上回っている。女子では、10歳、12歳、14歳から16歳で全国平均値を上回っており、それ以外の年齢では全国平均と同水準またはそれを下回っている。(図8)

全国における順位は、男子の15歳が全国4位となっている。(表6)

図8 全国平均値との比較(体重)

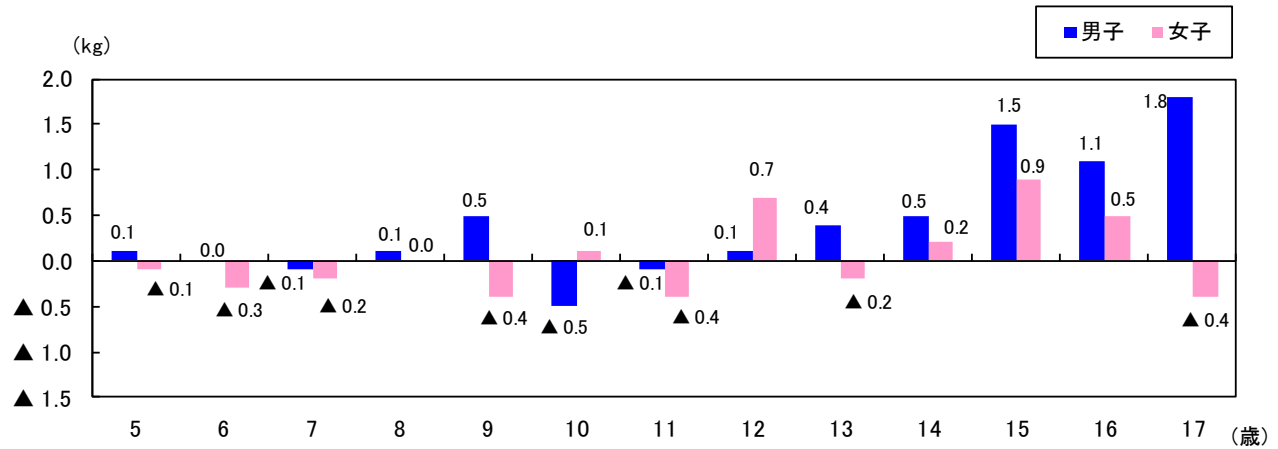


表6 本県の順位(体重)

(単位:kg、位)

区分	平成28年度								過去の順位	
	全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		27年度	26年度	
男子	5歳	18.9	19.0	12	19.7	宮城県	18.4	島根県	35	32
	6歳	21.4	21.4	14	22.2	青森県	20.9	島根県	25	28
	7歳	24.0	23.9	28	25.1	青森県、秋田県	23.4	大分県、鹿児島県	19	14
	8歳	27.2	27.3	14	29.0	福島県	26.3	山口県	18	13
	9歳	30.6	31.1	9	32.6	北海道	29.6	滋賀県、大分県	31	21
	10歳	34.0	33.5	35	36.2	福島県	33.0	島根県	42	18
	11歳	38.4	38.3	20	41.1	宮城県	37.1	滋賀県	22	38
	12歳	44.0	44.1	20	47.2	秋田県	42.6	島根県、広島県	29	31
	13歳	48.8	49.2	17	51.9	青森県	47.2	島根県、山口県	29	15
	14歳	53.9	54.4	10	56.4	秋田県	52.6	静岡県、島根県	3	13
	15歳	58.7	60.2	4	61.5	岩手県	57.1	兵庫県	23	17
	16歳	60.5	61.6	12	62.8	青森県	58.9	山口県	28	6
	17歳	62.5	64.3	5	65.5	岩手県	61.5	長野県、兵庫県	29	13
女子	5歳	18.5	18.4	26	19.2	福島県	18.0	島根県	11	40
	6歳	20.9	20.6	38	22.1	青森県	20.4	三重県	20	16
	7歳	23.5	23.3	29	24.8	秋田県	23.0	兵庫県、広島県、 鹿児島県	16	17
	8歳	26.4	26.4	25	28.1	青森県	25.8	広島県	16	39
	9歳	29.8	29.4	38	31.3	青森県、秋田県	29.1	滋賀県	28	38
	10歳	34.0	34.1	22	36.1	青森県	33.0	滋賀県	25	28
	11歳	39.0	38.6	33	41.6	青森県	37.7	島根県	45	31
	12歳	43.7	44.4	14	45.6	宮城県	42.4	滋賀県	44	21
	13歳	47.2	47.0	36	49.5	青森県	46.0	三重県	30	14
	14歳	50.0	50.2	14	52.3	青森県	49.2	三重県、鳥取県	23	21
	15歳	51.7	52.6	9	53.4	長崎県	50.5	広島県	23	22
16歳	52.6	53.1	12	54.1	秋田県	51.2	岡山県	26	16	
17歳	52.9	52.5	36	54.3	栃木県	51.5	山口県	22	15	

2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向児および痩身傾向児の状況

ア 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は男女ともおおむね年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、特に男子の高等学校が高くなっている。(図9-1、図9-2、表7)

図9-1 学校種別 肥満傾向児の推移(福井県) 男子

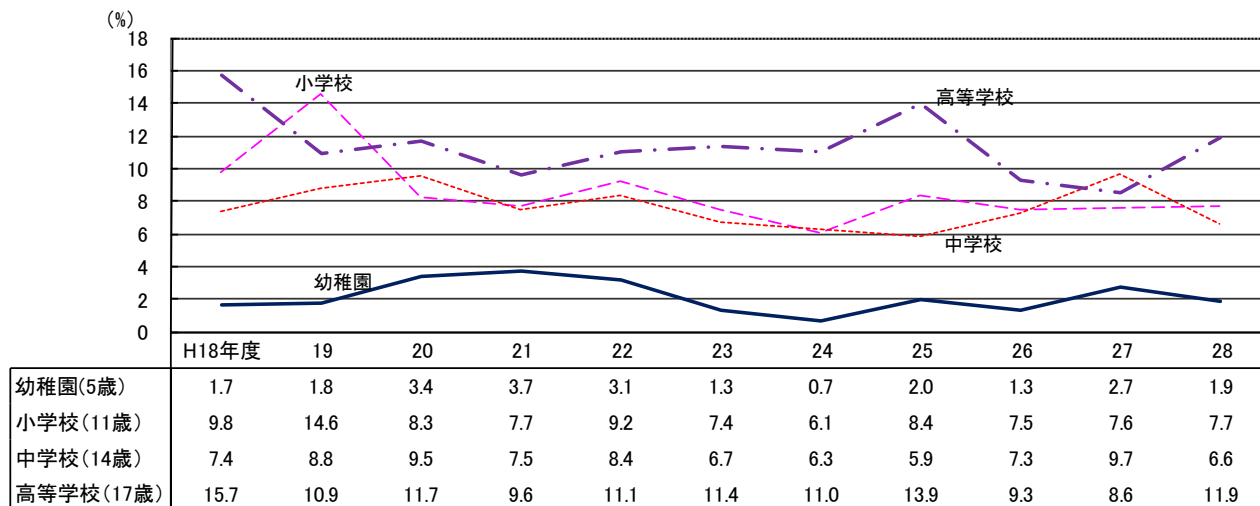
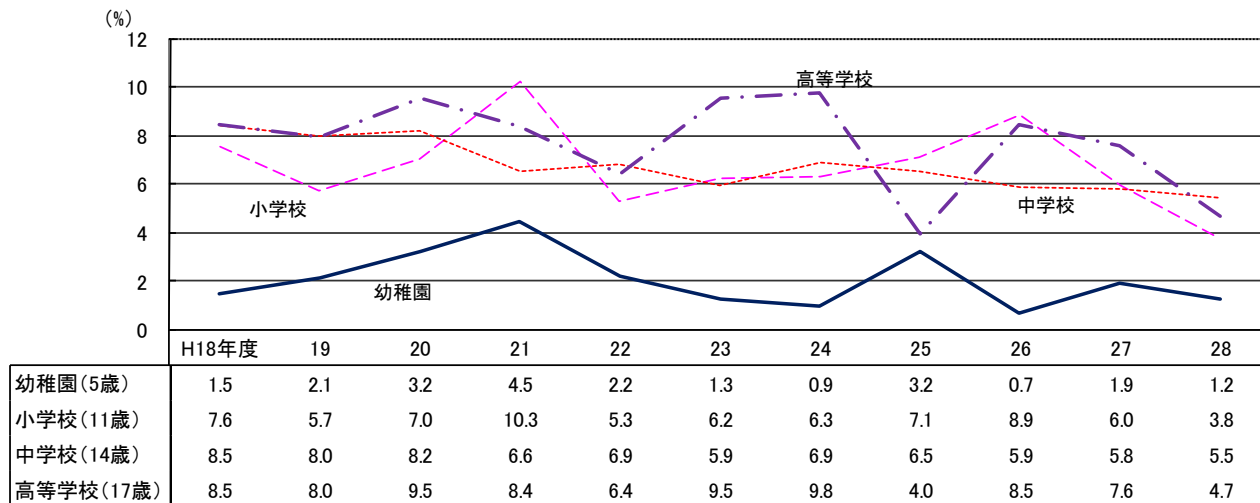


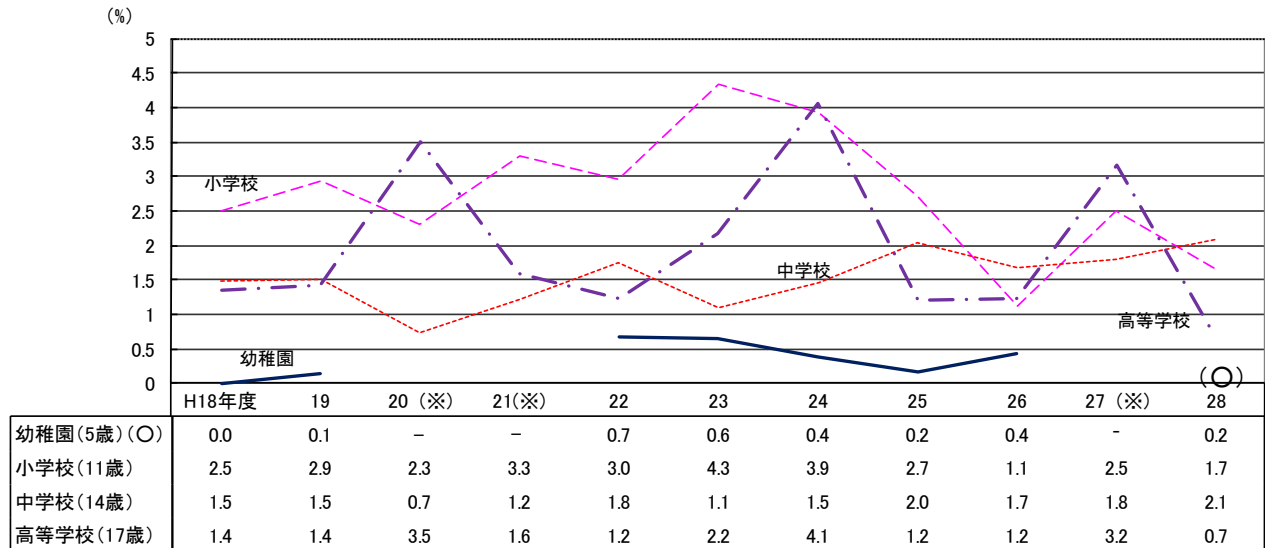
図9-2 学校種別 肥満傾向児の推移(福井県) 女子



イ 瘦身傾向児

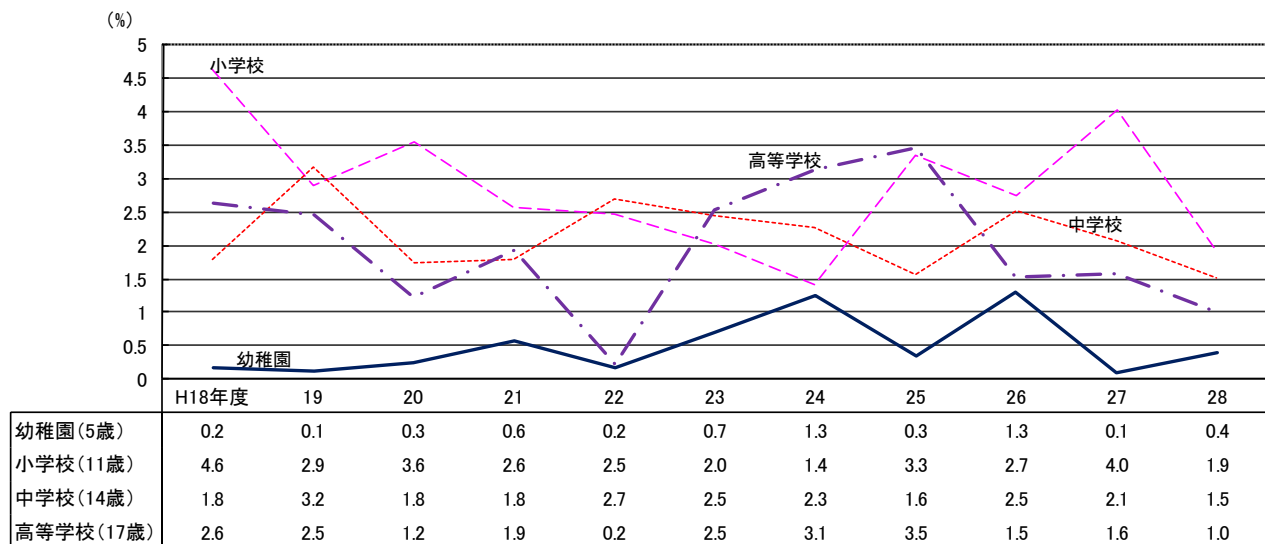
瘦身傾向児の出現率は、男子の小学校および高等学校、女子の小学校、中学校および高等学校で数値の変動が激しいが、平成28年度は男女とも小学校、中学校および高等学校で前年度より減少した。(図10-1, 図10-2)

図10-1 学校種別 瘦身傾向児の推移(福井県) 男子



※幼稚園のH20,21,27は該当者なし。

図10-2 学校種別 瘦身傾向児の推移(福井県) 女子



(2) 全国との比較

ア 肥満傾向児

全国平均と比較すると、平成 28 年度は男子は 6 歳、15 歳、16 歳および 17 歳を除き全国平均値を下回っている。女子はすべての年齢で全国平均値を下回っている。(図 1 1 - 1、図 1 1 - 2、表 7)

平成 18 年度 (10 年前) から平成 28 年度にかけて、特に女子で全国との差が拡大し、大幅に全国平均を下回るようになった。(表 7)

都道府県で比較すると、特に女子で肥満傾向児の出現率が全国でも下位の傾向があり、女子の 11 歳では全国で最も出現率が小さい。(表 8)

図 1 1 - 1 肥満傾向児の出現率 男子 (福井県・全国)

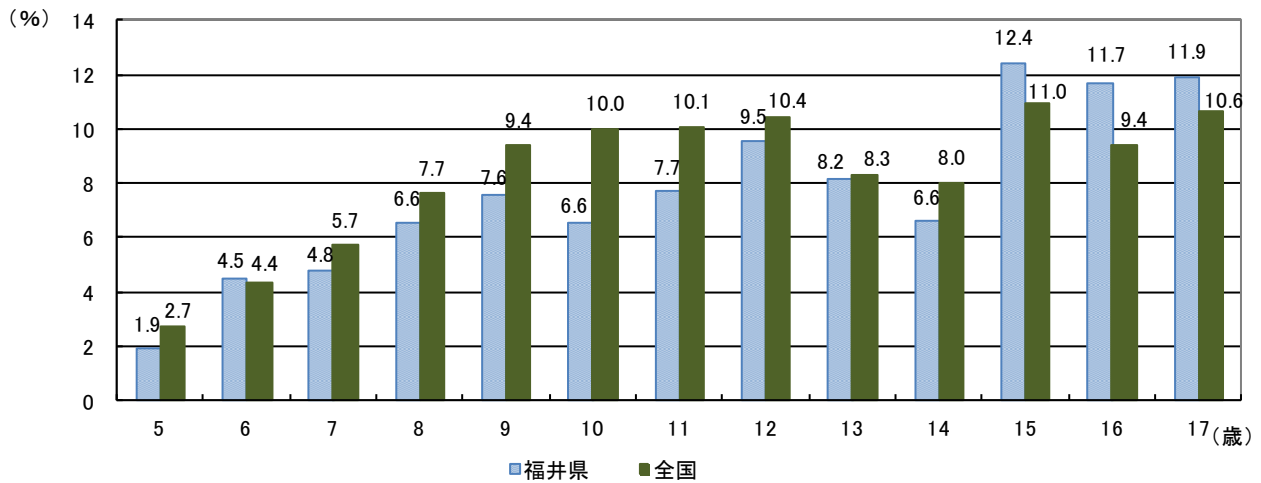


図 1 1 - 2 肥満傾向児の出現率 女子 (福井県・全国)

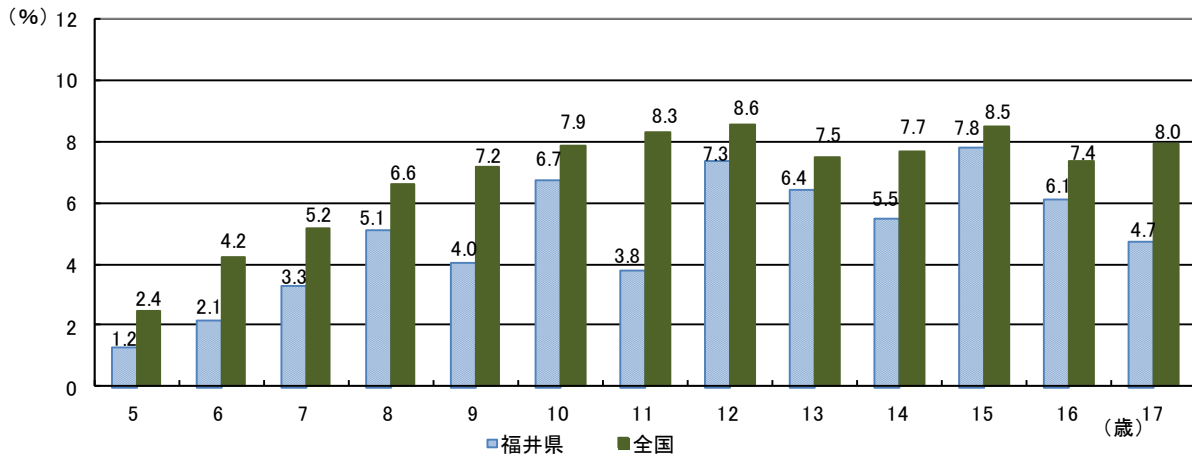


表7 全国平均値との比較（肥満傾向児の出現率）

（単位％）

区 分		男子						女子					
		平成18年			平成28年			平成18年			平成28年		
		福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	1.7	2.6	▲ 0.9	1.9	2.7	▲ 0.8	1.5	3.0	▲ 1.5	1.2	2.4	▲ 1.2
	6歳	5.7	5.7	0.0	4.5	4.4	0.1	2.1	5.0	▲ 2.9	2.1	4.2	▲ 2.1
小学校	7歳	5.0	6.2	▲ 1.2	4.8	5.7	▲ 1.0	4.4	5.9	▲ 1.4	3.3	5.2	▲ 1.9
	8歳	7.4	8.6	▲ 1.3	6.6	7.7	▲ 1.1	4.1	7.4	▲ 3.3	5.1	6.6	▲ 1.6
	9歳	9.0	10.8	▲ 1.8	7.6	9.4	▲ 1.8	7.9	8.6	▲ 0.7	4.0	7.2	▲ 3.2
	10歳	8.9	11.7	▲ 2.8	6.6	10.0	▲ 3.5	6.8	8.6	▲ 1.8	6.7	7.9	▲ 1.2
	11歳	9.8	11.8	▲ 2.0	7.7	10.1	▲ 2.4	7.6	10.0	▲ 2.4	3.8	8.3	▲ 4.5
中学校	12歳	10.3	13.3	▲ 3.0	9.5	10.4	▲ 0.9	9.0	10.1	▲ 1.2	7.3	8.6	▲ 1.3
	13歳	9.6	11.2	▲ 1.7	8.2	8.3	▲ 0.1	9.0	9.5	▲ 0.5	6.4	7.5	▲ 1.1
	14歳	7.4	11.2	▲ 3.9	6.6	8.0	▲ 1.5	8.5	9.2	▲ 0.7	5.5	7.7	▲ 2.2
高等学校	15歳	14.3	13.8	0.5	12.4	11.0	1.5	9.1	10.2	▲ 1.1	7.8	8.5	▲ 0.7
	16歳	12.2	12.5	▲ 0.3	11.7	9.4	2.3	9.5	9.5	0.0	6.1	7.4	▲ 1.3
	17歳	15.7	12.9	2.8	11.9	10.6	1.3	8.5	9.7	▲ 1.2	4.7	8.0	▲ 3.3

（注）数字は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表8 本県の順位（肥満傾向児の出現率）

（単位％、位）

区分		全国平均	県平均	順位	最低値		最高値	
男 子	5歳	2.7	1.9	38	0.9	三重県	6.4	岩手県
	6歳	4.4	4.5	27	2.4	鳥取県	8.6	茨城県
	7歳	5.7	4.8	34	4.0	長野県	11.2	青森県
	8歳	7.7	6.6	34	3.8	東京都	15.1	福島県
	9歳	9.4	7.6	37	5.6	兵庫県	17.3	北海道
	10歳	10.0	6.6	46	6.0	滋賀県	18.0	福島県
	11歳	10.1	7.7	42	5.3	滋賀県	18.0	北海道
	12歳	10.4	9.5	32	6.9	広島県	16.6	福島県
	13歳	8.3	8.2	28	5.4	福岡県	14.1	岩手県
	14歳	8.0	6.6	39	4.9	島根県	11.5	北海道
	15歳	11.0	12.4	18	6.4	岐阜県	16.6	岩手県
16歳	9.4	11.7	15	5.6	鳥取県	16.4	岩手県	
17歳	10.6	11.9	15	7.6	奈良県	16.9	岩手県	
女 子	5歳	2.4	1.2	43	0.9	石川県	6.6	福島県
	6歳	4.2	2.1	45	1.6	大阪府	9.2	青森県
	7歳	5.2	3.3	44	2.7	広島県	10.0	青森県
	8歳	6.6	5.1	42	4.4	京都府	12.4	青森県
	9歳	7.2	4.0	46	3.8	京都府	11.6	福島県
	10歳	7.9	6.7	37	3.9	滋賀県	12.8	福島県
	11歳	8.3	3.8	47	3.8	福井県	14.4	福島県
	12歳	8.6	7.3	37	5.3	滋賀県	13.5	沖縄県
	13歳	7.5	6.4	39	4.6	三重県	11.9	青森県
	14歳	7.7	5.5	45	4.5	鳥取県	11.7	青森県
	15歳	8.5	7.8	31	4.8	兵庫県	13.2	茨城県
16歳	7.4	6.1	36	4.4	奈良県	13.2	青森県	
17歳	8.0	4.7	46	4.1	山口県	12.8	秋田県	

※数値は小数点第2位を四捨五入している

イ 痩身傾向児

全国平均と比較すると、平成 28 年度では男子では 6 歳、7 歳、10 歳および 14 歳で全国平均値を上回っている。また 5 歳では全国平均と同水準である。それ以外の年齢では全国平均を下回っている。女子では 6 歳を除くすべての年齢で全国平均値を下回っている。(図 1 2-1、図 1 2-2、表 9)

平成 18 年度から平成 28 年度にかけて、男女ともに高等学校で大きく出現率が低下し、全国平均を大きく下回るようになった。(表 9)

都道府県で比較すると、特に女子で痩身傾向児の出現率が全国でも下位の傾向がある。(表 1 0)

図 1 2-1 痩身傾向児の出現率 男子 (福井県・全国)

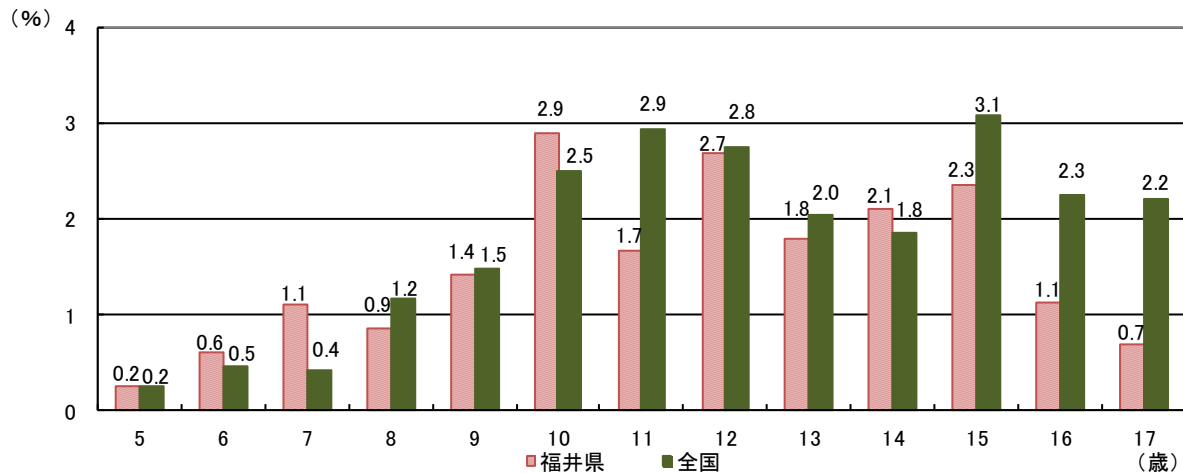


図 1 2-2 痩身傾向児の出現率 女子 (福井県・全国)

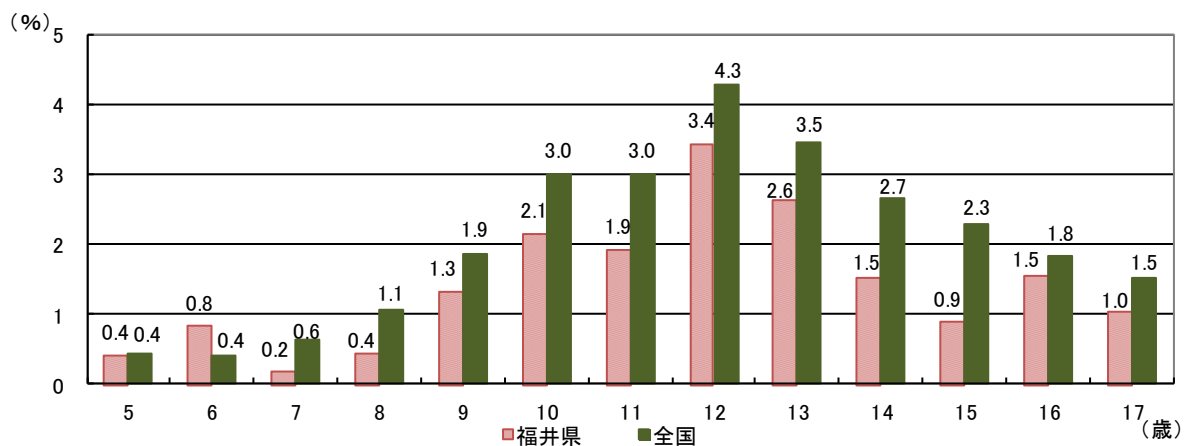


表9 全国平均値との比較 (痩身傾向児の出現率)

(単位%)

区 分	男子						女子						
	平成18年			平成28年			平成18年			平成28年			
	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	
幼稚園	5歳	0.0	0.4	▲ 0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.4	▲ 0.3	0.4	0.4	▲ 0.1
	6歳	0.0	0.4	▲ 0.4	0.6	0.5	0.1	0.6	0.5	0.1	0.8	0.4	0.4
小学校	7歳	0.2	0.4	▲ 0.2	1.1	0.4	0.7	0.2	0.6	▲ 0.4	0.2	0.6	▲ 0.5
	8歳	0.5	0.9	▲ 0.4	0.9	1.2	▲ 0.3	1.5	1.1	0.4	0.4	1.1	▲ 0.6
	9歳	0.2	1.5	▲ 1.3	1.4	1.5	▲ 0.1	0.5	1.8	▲ 1.3	1.3	1.9	▲ 0.6
	10歳	1.9	2.3	▲ 0.5	2.9	2.5	0.4	1.1	2.7	▲ 1.6	2.1	3.0	▲ 0.9
	11歳	2.5	2.5	0.0	1.7	2.9	▲ 1.3	4.6	2.5	2.2	1.9	3.0	▲ 1.1
中学校	12歳	0.7	2.0	▲ 1.3	2.7	2.8	▲ 0.1	3.2	3.5	▲ 0.3	3.4	4.3	▲ 0.9
	13歳	0.7	1.4	▲ 0.7	1.8	2.0	▲ 0.3	1.6	3.4	▲ 1.8	2.6	3.5	▲ 0.9
	14歳	1.5	1.5	0.0	2.1	1.8	0.3	1.8	2.8	▲ 1.0	1.5	2.7	▲ 1.2
高等学校	15歳	2.1	2.0	0.1	2.3	3.1	▲ 0.7	2.3	2.2	0.1	0.9	2.3	▲ 1.4
	16歳	2.2	1.6	0.6	1.1	2.3	▲ 1.1	2.3	1.5	0.8	1.5	1.8	▲ 0.3
	17歳	1.4	1.4	0.0	0.7	2.2	▲ 1.5	2.6	1.2	1.4	1.0	1.5	▲ 0.5

(注)数値は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表10 本県の順位（瘦身傾向児の出現率）

（単位%、位）

区分		全国平均	県平均	順位	最低値		最高値	
男 子	5歳	0.2	0.2	24	該当者なし	宮城県、愛知県、滋賀県、島根県、岡山県、宮崎県、沖縄県	1.4	高知県
	6歳	0.5	0.6	14	該当者なし	山形県、岐阜県、奈良県、鳥取県、福岡県、沖縄県	1.3	大阪府
	7歳	0.4	1.1	4	該当者なし	福島県、群馬県、静岡県、島根県、佐賀県、熊本県	1.6	奈良県
	8歳	1.2	0.9	22	該当者なし	埼玉県、佐賀県、沖縄県	2.7	神奈川県
	9歳	1.5	1.4	23	0.5	石川県	4.9	山梨県
	10歳	2.5	2.9	12	1.0	栃木県	5.2	奈良県
	11歳	2.9	1.7	46	1.5	岡山県	4.3	愛知県
	12歳	2.8	2.7	15	1.2	熊本県	4.0	神奈川県
	13歳	2.0	1.8	29	0.8	青森県	3.1	京都府
	14歳	1.8	2.1	8	0.5	沖縄県	3.2	新潟県、京都府
	15歳	3.1	2.3	33	0.9	山形県	5.4	兵庫県
	16歳	2.3	1.1	45	0.8	秋田県	4.3	高知県
	17歳	2.2	0.7	44	0.3	石川県	4.8	新潟県
女 子	5歳	0.4	0.4	28	該当者なし	岡山県	1.9	長崎県
	6歳	0.4	0.8	3	該当者なし	愛知県、宮崎県、沖縄県	1.6	宮城県
	7歳	0.6	0.2	43	該当者なし	青森県、秋田県、宮崎県	2.1	長野県
	8歳	1.1	0.4	44	0.2	岩手県	2.6	長崎県
	9歳	1.9	1.3	34	0.4	長崎県	4.2	奈良県
	10歳	3.0	2.1	32	1.2	高知県	5.9	神奈川県
	11歳	3.0	1.9	35	1.2	岩手県	5.0	富山県
	12歳	4.3	3.4	27	1.8	高知県	7.2	滋賀県
	13歳	3.5	2.6	38	1.6	福島県	5.2	千葉県
	14歳	2.7	1.5	44	0.9	宮城県	4.1	東京都
15歳	2.3	0.9	45	0.5	埼玉県	4.7	奈良県	
16歳	1.8	1.5	28	0.5	福島県	4.4	岡山県	
17歳	1.5	1.0	39	0.5	愛媛県	2.9	新潟県	

※数値は小数点第2位を四捨五入している

【参考】肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする。

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方

（係数 a, b は表を参照）

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

3 健康状態調査

(1) 疾病・異常等の状況

平成28年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の疾病・異常等の状況は表11のとおりである。

表11 健康状態調査結果表

(単位: %)

区 分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸 眼 視 力	計(1.0未満)	23.8	32.0	58.1	73.0	25.1	29.8	53.9	71.8	X	34.4	62.5	74.3	
	1.0未満～0.7以上	13.0	9.4	9.1	7.8	14.2	9.3	9.8	8.8	X	9.5	8.4	6.8	
	0.7未満～0.3以上	10.1	12.8	17.4	15.3	10.1	11.9	16.3	17.7	X	13.7	18.5	12.9	
	0.3未満	0.7	9.8	31.6	49.9	0.8	8.6	27.8	45.4	X	11.1	35.6	54.6	
眼の疾病・異常		0.8	1.6	0.6	0.3	0.4	1.8	0.6	0.3	1.1	1.4	0.5	0.4	
難 聴		…	0.4	0.2	0.3	…	0.4	0.2	0.1	…	0.4	0.3	0.4	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	1.0	1.5	0.9	0.5	2.0	1.7	1.1	0.6	—	1.4	0.6	0.5	
	鼻・副鼻腔疾患	3.0	5.6	3.6	2.1	3.1	7.0	3.9	1.7	2.9	4.2	3.3	2.5	
	口腔咽喉頭疾患・異常	0.3	1.9	0.7	1.1	0.5	1.8	1.0	0.9	—	2.1	0.4	1.2	
歯 ・ 口 腔	む し 歯	計	42.7	57.4	49.6	62.0	46.7	59.7	48.6	61.3	38.5	55.1	50.6	62.7
		処置完了者	14.2	25.4	28.7	36.4	16.4	25.5	27.7	32.7	11.8	25.4	29.6	40.0
		未処置歯のある者	28.5	32.0	20.9	25.7	30.2	34.2	20.9	28.6	26.7	29.7	20.9	22.8
	歯列・咬合	10.3	5.1	4.6	4.2	7.9	4.8	4.3	3.2	12.8	5.4	4.9	5.2	
	顎関節	—	0.1	0.1	0.3	—	0.1	0.0	0.1	—	0.0	0.1	0.4	
	歯垢の状態	2.5	3.6	3.2	5.6	2.5	4.4	4.2	6.9	2.6	2.7	2.2	4.3	
	歯肉の状態	—	2.0	4.8	4.7	—	2.4	5.5	5.9	—	1.7	4.0	3.5	
	その他の疾病・異常	1.9	6.7	4.5	4.2	1.8	7.3	5.1	4.7	2.1	6.1	3.9	3.6	
永 久 歯 の 平 均 む し 歯 等 数	計(本)	…	…	1.2	…	…	…	1.2	…	…	…	1.3	…	
	喪失歯数(本)	…	…	0.0	…	…	…	0.0	…	…	…	0.0	…	
	(む し 歯)	計(本)	…	…	1.2	…	…	…	1.1	…	…	…	1.3	…
		処置歯数(本)	…	…	0.8	…	…	…	0.7	…	…	…	0.9	…
	未処置歯数(本)	…	…	0.4	…	…	…	0.4	…	…	…	0.4	…	
栄養状態		0.3	1.6	1.1	1.8	0.4	2.1	1.3	1.8	0.3	1.1	0.8	1.8	
せき柱・胸郭・四肢の状態		0.1	1.1	1.6	1.1	0.2	1.3	1.9	1.1	—	1.0	1.2	1.0	
疾 皮 患 膚	アトピー性皮膚炎	3.2	4.3	2.4	2.0	3.7	4.9	2.8	2.3	2.7	3.6	2.0	1.7	
	その他の皮膚疾患	1.7	0.5	0.2	0.2	1.6	0.5	0.2	0.1	1.7	0.4	0.2	0.2	
結核の精密検査の対象者		…	0.1	0.1	…	…	0.1	0.0	…	…	0.1	0.1	…	
結核		…	—	—	0.0	…	—	—	0.0	…	—	—	—	
心臓の疾病・異常		1.9	1.0	0.7	0.7	3.8	1.0	0.8	0.8	—	0.9	0.6	0.6	
心電図異常		…	3.0	2.8	1.4	…	3.1	4.0	2.2	…	3.0	1.5	0.6	
たばく検出の者		1.1	0.4	1.7	2.4	1.0	0.2	2.3	3.3	1.2	0.6	1.1	1.5	
尿糖検出の者		…	0.1	0.1	0.2	…	0.1	0.1	0.2	…	0.2	0.1	0.2	
疾 病 の 他 の 異 常	ぜん息	0.9	3.4	1.5	1.0	1.4	4.1	1.9	1.2	0.4	2.6	1.0	0.9	
	腎臓疾患	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.3	—	0.1	0.1	0.2	
	言語障害	—	0.3	0.1	0.1	—	0.5	0.1	0.1	—	0.1	0.0	0.0	
	その他の疾病・異常	0.8	4.0	5.6	2.4	1.3	4.8	5.7	2.0	0.2	3.1	5.5	2.9	

(注)1 この表は健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者)の占める割合を示したものである。

2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

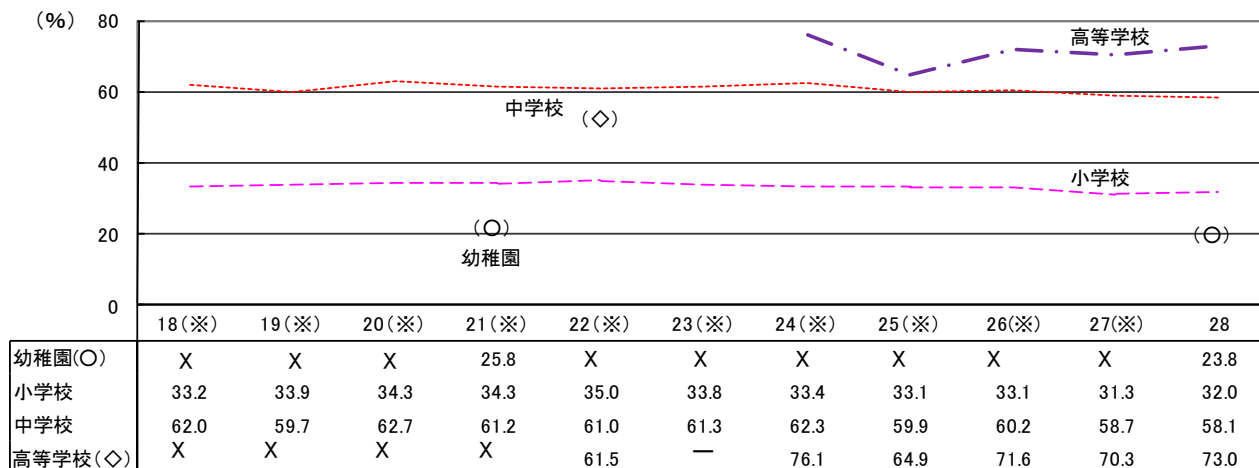
(2) 主な疾病・異常等の推移

ア 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校で 32.0%、中学校で 58.1%、高等学校で 73.0%となっており、小学校および高等学校で前年度から増加し、中学校では前年度から減少している。

ここ 10 年間（平成 18 年度以降）の推移をみると、小学校および中学校はほぼ横ばいで推移している。（図 1 3）

図 1 3 学校種別 裸眼視力 1.0 未満の者の推移



※幼稚園のH18～20およびH22～27、高等学校のH18～21は未公表。高等学校のH23は調査対象となる受検者がいないため該当者なし。

全国平均と比較すると、平成 18 年度（10 年前）は小学校および中学校で、平成 28 年度は小学校、中学校および高等学校で全国平均値を上回っている。

また、視力の内訳をみると、平成 18 年度の小学校および中学校、平成 28 年度の小学校、中学校および高等学校において、0.3 未満の者の割合が全国を上回っている。特に平成 28 年度の高等学校において 0.3 未満の者がほぼ 5 割を占めており、全国との差も顕著である。（表 1 2）

表 1 2 全国平均値との比較（裸眼視力 1.0 未満の者の割合）

(単位: %)

区 分	平成18年度								平成28年度							
	福井県				全国				福井県				全国			
	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者
幼稚園	X	X	X	X	24.1	18.0	5.6	0.5	23.8	13.0	10.1	0.7	27.9	20.0	7.1	0.9
小学校	33.2	10.0	13.2	10.0	28.4	10.4	11.2	6.7	32.0	9.4	12.8	9.8	31.5	11.2	11.7	8.6
中学校	62.0	9.2	19.0	33.8	50.1	11.9	17.8	20.4	58.1	9.1	17.4	31.6	54.6	11.5	16.4	26.7
高等学校	X	X	X	X	58.7	14.3	17.6	26.8	73.0	7.8	15.3	49.9	66.0	11.8	16.6	37.5

※福井県平成18年度の幼稚園の調査結果および高等学校の内数は未公表。

四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

【裸眼視力の取扱いについて】

裸眼視力検査では、視力を矯正している者（眼鏡またはコンタクトレンズ装着者）が、裸眼視力検査を省略した場合は、その者の所属する学級の全員を調査対象外とする。

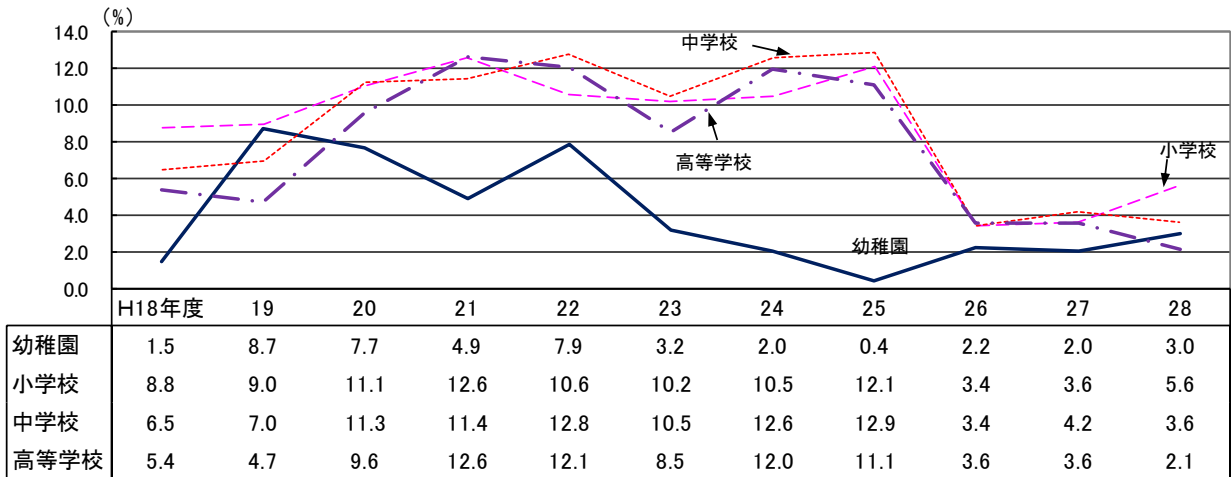
イ 鼻・副鼻腔疾患の者

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、幼稚園で3.0%、小学校で5.6%、中学校で3.6%、高等学校で2.1%となっている。

ここ10年間（平成18年度以降）の推移をみると、平成19年度から平成21年度にかけて増加傾向となり、平成23年度に減少に転じた。小学校および中学校で平成24年度から平成25年度は再び増加傾向となり、平成26年度は大幅に減少、平成27年度は横ばいとなった。

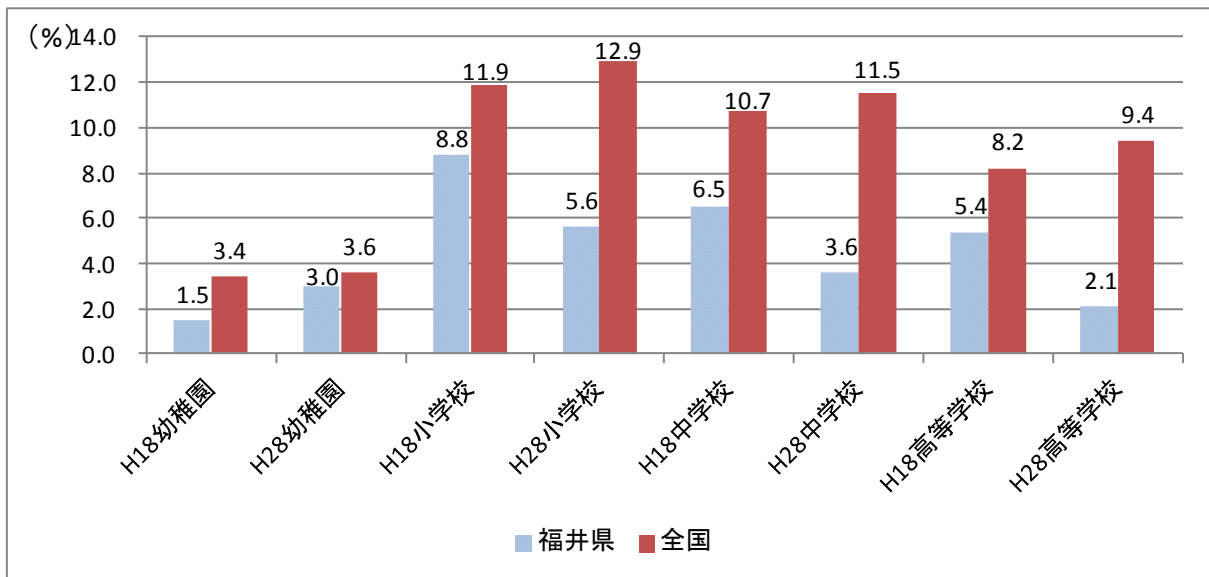
今年度は幼稚園、小学校で増加、中学校、高等学校で減少している。（図14-1）

図14-1 学校種別 鼻・副鼻腔疾患の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成18年度（10年前）、平成28年度ともにすべての学校種別で全国平均値を下回っている。また、小学校、中学校および高等学校で平成18年度から平成28年度にかけて全国との差が広がっている。（図14-2）

図14-2 全国平均値との比較（鼻・副鼻腔疾患の者の割合）

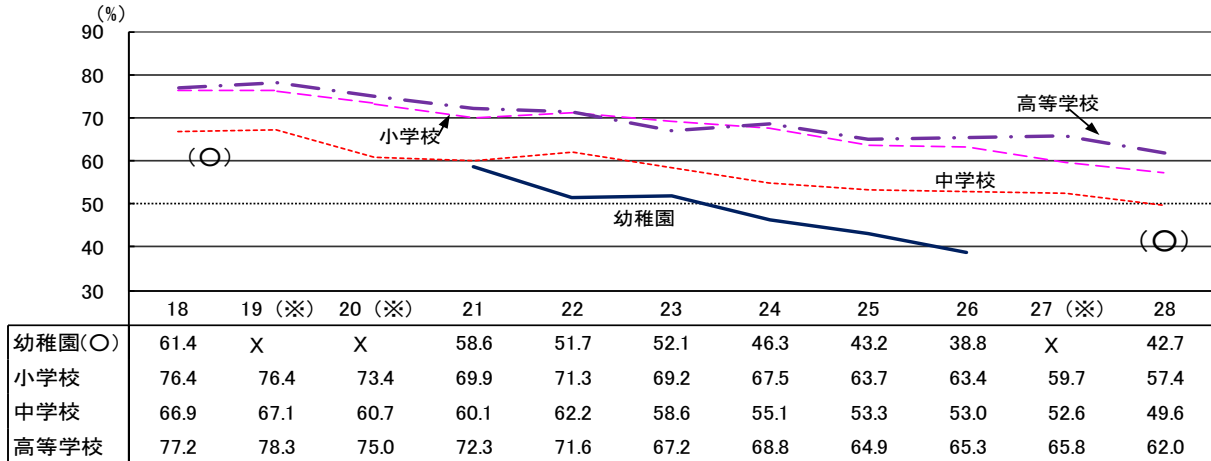


ウ むし歯（う歯）の者

むし歯の者の割合（処置完了者を含む）は、幼稚園で42.7%、小学校で57.4%、中学校で49.6%、高等学校で62.0%となっている。小学校、中学校および高等学校で前年度より減少している。

また、ここ10年間（平成18年度以降）の推移をみると、すべての学校種別で緩やかな減少傾向にある。（図15）

図15 学校種別 むし歯の者の推移（福井県）



※幼稚園のH19,20,27は未公表。

全国平均と比較すると、平成18年度（10年前）および平成28年度ともに、すべての学校種別で全国平均値を上回っている。（表13）

表13 全国平均値との比較（むし歯の者の割合）

(単位:%)

区分	平成18年度						平成28年度					
	福井県			全国			福井県			全国		
	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置歯 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置歯 の
幼稚園	61.4	19.8	41.6	55.2	21.7	33.5	42.7	14.2	28.5	35.6	14.5	21.1
小学校	76.4	36.9	39.4	67.8	32.9	34.9	57.4	25.4	32.0	48.9	24.7	24.2
中学校	66.9	35.8	31.1	59.7	31.9	27.7	49.6	28.7	20.9	37.5	21.0	16.5
高等学校	77.2	42.2	35.0	70.1	39.4	30.6	62.0	36.4	25.7	49.2	28.4	20.8

※四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

表14 永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）本数の推移（12歳のみ調査）

(単位:本)

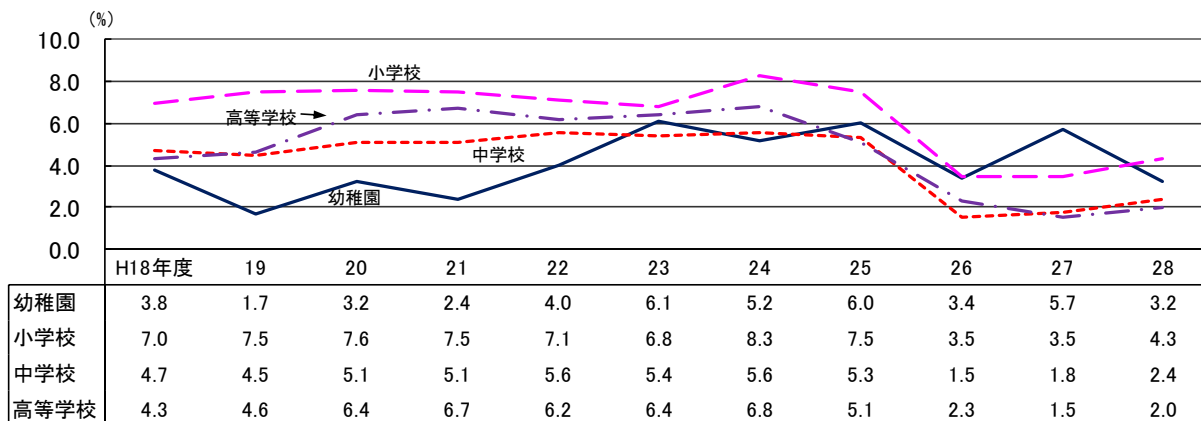
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
福井県	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2
全国	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8

エ アトピー性皮膚炎の者（平成 18 年度調査から集計対象）

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園で3.2%、小学校で4.3%、中学校で2.4%、高等学校で2.0%となっている。小学校、中学校および高等学校で前年度から増加しているが、幼稚園で前年度より減少している。

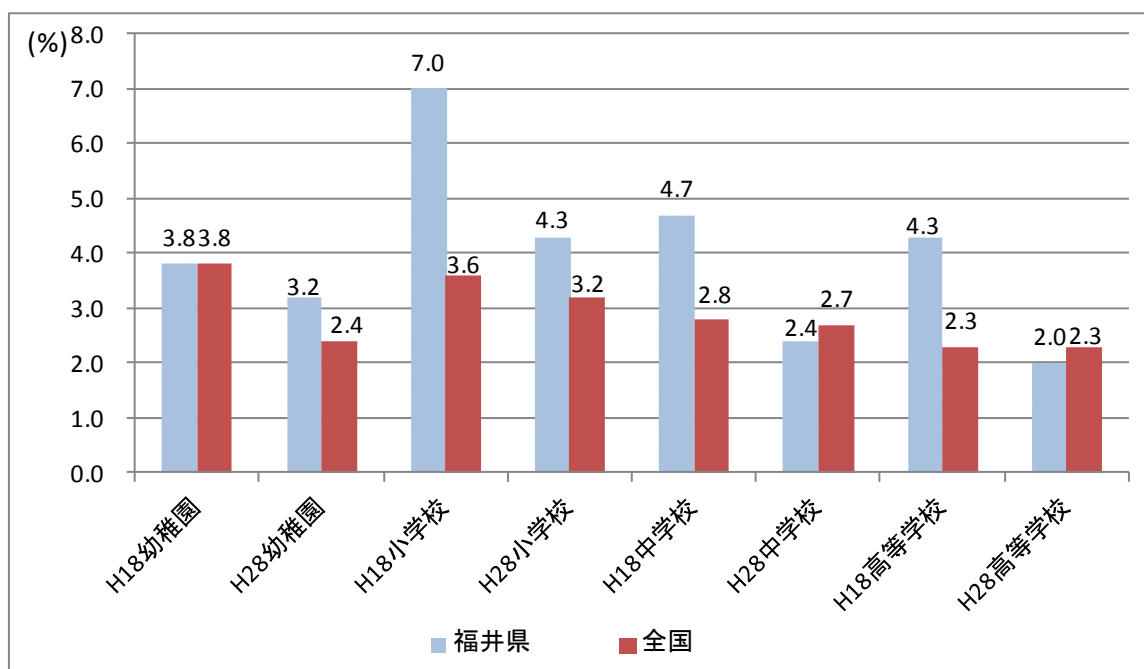
また、ここ10年（平成18年度以降）の推移をみると、小学校、中学校および高等学校において平成25年度まではおおむね横ばい傾向だが、それ以降は減少傾向にある。（図16-1）

図16-1 学校種別 アトピー性皮膚炎の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成18年度（10年前）は、小学校、中学校および高等学校で全国平均値を上回っており、平成28年度は、幼稚園および小学校で全国平均値を上回っているが、中学校および高等学校では全国平均値を下回っている。（図16-2）

図16-2 全国平均値との比較（アトピー性皮膚炎の者の割合）

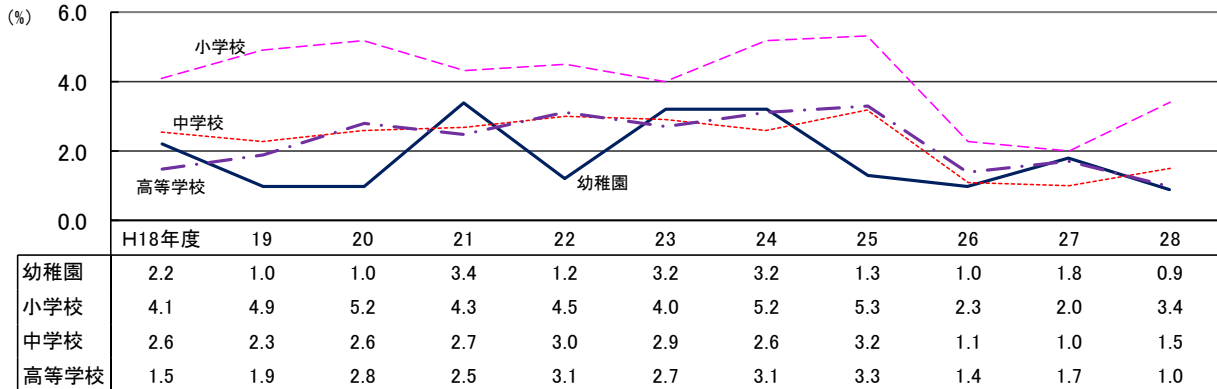


オ ゼン息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園で0.9%、小学校で3.4%、中学校で1.5%、高等学校で1.0%となっている。小学校および中学校で前年度より増加しているが、幼稚園および高等学校で前年度より減少している。

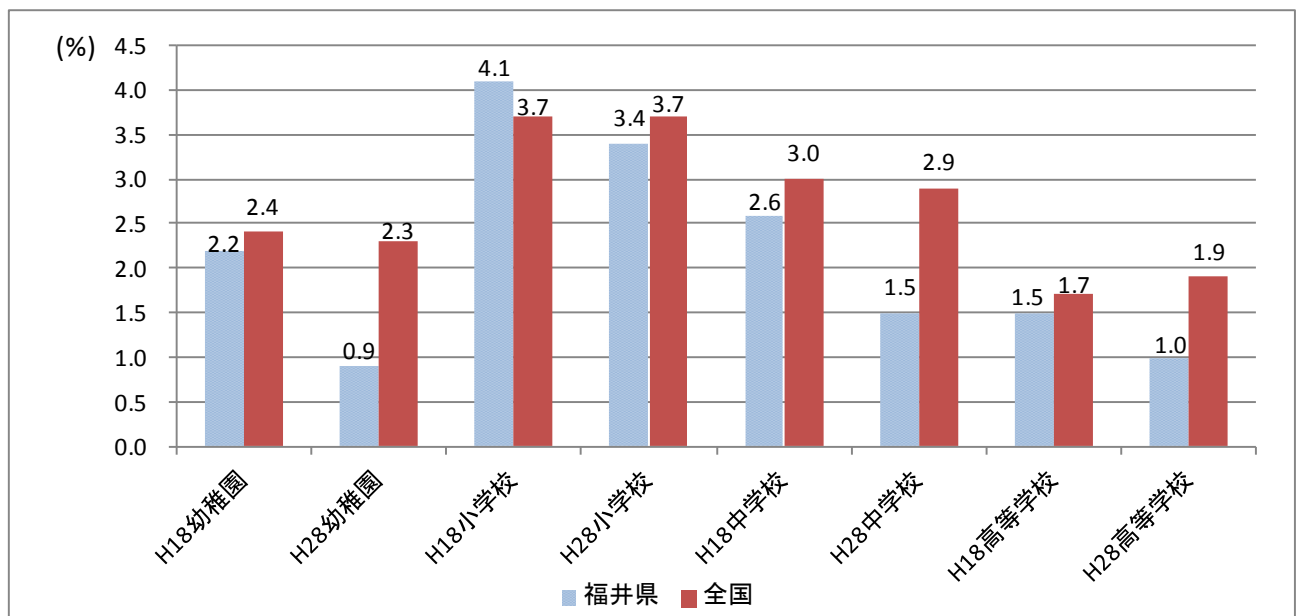
また、ここ10年（平成18年度以降）の推移は、平成18年度（10年前）から平成25年度までは幼稚園以外ではおおむね横ばいだが、それ以降は特に中学校および高等学校で減少傾向にある。（図17-1）

図17-1 学校種別 ゼン息の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成18年度（10年前）は幼稚園、中学校、高等学校で、平成28年度はすべての学校種別で全国平均値を下回っている。また、10年前と現在を比較すると、全国平均との差が広がっている。（図17-2）

図17-2 全国平均値との比較（ぜん息の者の割合）





健康長寿の福井